

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	排水施設(側溝・排水管)の設置	m	目標	500.00	500.00	500.00
			実績	389.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	排水整備率	%	目標	25.40	25.60	25.80
			実績	25.40	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	ますます必要性が高まっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在のやり方が一般的であり、特に問題はない。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	快適性を追及する一方で、コストが掛るため一概に効率性がよいとは言い難い。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	広い範囲に対して便益が提供されており、偏りはみられない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	概ね、排水整備工事を実施することで、水たまりが解消され、生活環境の改善が図られた。
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	限られた予算の範囲内での対応となるため、市全体の対象路線で考えた場合、進捗率は低い。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
予算が削減されていく中で、コスト削減に努めているが、近年のゲリラ豪雨等により住宅地への冠水が増加傾向にある。また、他の事業にくらべてコストが高いだけではなく、地形等の条件にも大きく影響されるため対応が難しい場合がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
水たまり箇所図作成及び現状把握・分析。 年々、豪雨等により市道排水整備の要望が増加しており、近隣に排水路等がない状況や地形が平坦な状況での排水検討が求められるため、測量・設計については委託による対応を今より多く導入することを検討していきたい。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 整備箇所の情報を整理したうえで、経済性・必要性・妥当性を考慮し最適な設計・整備に繋げていく必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	